

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団

所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番地10号
深川消防団本部

TEL:03-3642-0119

FAX:03-3641-4422

東京消防出初式に深川消防団出場！平成19年1月6日 東京ビックサイト

★NHKニュースで流れた、災害救助活動演技場面★

災害への備え 今がその時！



今年も、消防署員・消防団員・災害時支援ボランティア・事業所の自衛消防団等約2600名、消防ヘリ・消防艇を含む143台の車両が参加。分列行進や消防活動演技などが行われ我が深川消防団も部隊検閲に参加。更に、大規模地震の発生を想定した大規模災害救助活動演技においては、第十分団は可搬ポンプ積載車で災害現場に急行、第七分団は特殊技能を持つ団員がフォークリフトで瓦れき等を速

やかに除去した。当日は、悪天候の中現実のような緊迫感が伝わった。(この模様はNHKテレビのニュースで全国に紹介される)悪天候にもかかわらず多くの観客から演技が終わると惜しめない拍手が送られた。また、江戸消防記念会による木遣行進・はしご乗りも披露され、我が団より岩崎副団長も記念会メンバーとして参加した。

(第一分団長谷川編集員)
(第八分団庄井編集員)
(第十分団金子編集員)



瓦礫除去する(第七分団)



整列する消防団員



可搬ポンプ積載車(第十分団)

★出初りの起源は1659年にさかのぼる。当時、江戸の町は1657年(明暦3)に発生した明暦の大火の復興作業にあたる町民は絶望的な状態にあった。そこで、時の老中稲葉伊予守正則が定火消総勢4隊を率いて、上野東照宮前で「出初」を行い、氣勢をあげ、市民に希望と信頼を与えた。これが、正月の恒例行事として現在まで受け継がれている。



深川消防団団長
増茂 洋之進

新年明けましておめでとうございます。

深川消防団280名の皆さん、それを支えるご家族そして団員を物心両面に渡ってご支援いただく地域の皆様方には輝かしい2007年の新春をお迎えるの事と思います。

若い団員から四十年を越すベテラン団員まで、深川消防団は住んで良かった深川と言われるよう、防火・防災のため、日夜訓練を消防署のご指導の元で取り組んでいます。

「出火報」を受けて正業ストップ・即火災現場に急行、生活基盤である担当地区を知りつくした強みで家族状況等を消防隊に即伝達し連携で被害を最小限に抑えざるのが消防団の使命であります。

昨年十月、区報で「町を守る！深川消防団、

東京都消防操法大会で優勝」と報じられた様に、訓練千日・大会一瞬に耐え待望の金メダルを獲得した団員が大好きな下町深川を守ります。

消防署員より学ぶ防災知識を防災訓練等で分かりやすく地域住民に説明する事も消防団の役目でもあります。

これからも「我が町は我が手で守る！」との団員の地域愛のみならず社会勉強を加味して更なる消防団活動に磨きをかけてまいります。

新入団員のご紹介も含め

本年も宜しくお願致します。

操法都大会

祝勝会行われる

【期日/11月29日(水)】
【場所/ホテルイースト21東京】

11月29日(水)にホテルイースト21東京(東陽)において、東京都消防操法大会の優勝祝賀会が行われました。10月14日(土)に行われた第36回大会では、深川消防団は出場15消防団の中



深川消防団 東京都消防操法大会優勝祝賀会
副分団長(赤澤)による挨拶
中、優勝という榮譽に輝くことができました。優勝祝賀会はこれを記念して開かれ、ご来賓の方

にはご丁寧なご祝辞を頂戴し、また出場者の表彰が行われた後、会場内和やかに懇談しながらの会食となりました。深川消防団の一致団結した支援と深川消防署のご指導のもとに、6人の選手が余すところなく訓練の成果を発揮して勝ち得た優勝です。その榮譽をたたえ、喜び合うことができました。素晴らしい祝賀会となりました。

(第五分団 高橋 編集員)

操法都大会を振り返り

10月の秋晴れの中、第36回東京都操法大会は開催され、私、編集員を含む15人は会場作業などのために東京消防庁消防学校に派遣され、幸い深川消防団の優勝というこの歴史的な現場に立ち会うことができた。

午後2時40分「深川消防団開始」の号令とともに流れるような操法と一糸乱れぬ規律を見せダントツの得点で優勝した深川消防団選抜選手たちであったがその背景には、長い選手たちの訓練期間と深川消防署、団本部、深川十個分団、二百数十人の団員の支援と期待があり、また第七方面全ての消防団の代表としての立場があった。

深川の出番は小型ポンプ操法7隊、可搬ポンプ操法15隊の最後に当たっており、かなり長い待ち時間があつた。編集員は会場での作業の合間に、会場内で選手たちを探したがなかなか見つからず、やっと消防学校の道路を隔てたところにある駐車場で選手たちを発見した。そこでは走り込みをしている古屋団員とその先には各選手の服装を直している皆川団員の姿があり、それが終わると黙々と基本練習などを中村消防署長、団長、各分団長の方々たちが見守る中、時間ぎりぎりまで行っていた。

このように基礎訓練にこだわることは、特に49回に及ぶ都大会に向けた訓練の方針にあるように思われる。事前訓練においては50回予定のうち雨による中止が1回だけという天候にも恵まれ、消防署のご手配による猿江公園、有明清掃工場など訓練に最適な場所にも恵まれ、更に優秀な署員の方々のご指導を受け、もちろん多くの団員の支援を受け、すべてがうまく運んだことはもちろんの事、平山分団長(都大会リーダー)のシナリオにより徹底した基礎訓練を指導し各選手たちが素直にこれを行ったということの特筆すべきであろう。

編集員は出場直前の選手たちに意気込みなどを聞いてみたが、特に多くを語らなかつた。それは緊張していたということではなく、今まで全てのこと積み重なって自信となっており、それが平常心となつて操法に現れたのだと思う。深川消防団の操法が終わった後の放水でぬれたグラウンドには秋の晴れた空と真っ白い雲が映っていた。東京都操法大会優勝の表彰式が終り、記念撮影には第七方面本部長も駆けつけられ、あらためて広い地域の代表であつた事を再認識させられた。その後には選手、支援団員、署員の方々ともに喜びを爆発させ、増茂団長、中村署長はじめ指導してくれた署員の方々たち、訓練責任者の宮内副団長やリーダーた

ちを選手たちが高々と胴上げし支援に對しての感謝を表していた。帰りのバスのなかでは和気あいあい、岡本分団長(都大会サプリーダー)が夜も寝ないで考えたという、「富士山」の替え歌で作つた深川消防団の応援歌を披露し大喝采を浴びていた。

一行が深川消防署へ着くと署員の方々の暖かい出迎えを受け、早くも手作りの「祝優勝」の横断幕が用意されてい署員の方たちの消防団に對しての応援の気持ちに感激させられた。今回編集員が一人として少ないながらも事前訓練、都大会、表彰式と立ち会うことができて特に感じたことは、各出場選手の血のにじむような訓練はもちろん、他にいかに多くの方々の支援の上に成り立つた都大会の優勝であつたかということである。

(第八分団 庄井 編集員)

第五分団より二人が参加

全国女性消防団員活性化(群馬大会)

(財)日本消防協会(財)群馬県消防協会主催

【期日/11月1日(水)】場所/前橋・群馬アリーナ

テーマは「はつらつ」、女性消防団

(第五分団 班長 大関 康美)

(第五分団 団員 武内 昌子)

(第五分団 団員 矢野尾 哲子)

初めに、片山虎之助日本消防協会会長より「消防団の存在、役割の重要性」

戒所
風景



幡宮



不動堂



神社



神社



神社



を支える



自分たちで守る

深川消防団員募集中!!

女性・勤務者

・学生の方大歓迎

・18歳以上の方



検閲風景

今年、深川消防団が消防操練を実施しました。初めての団員もいましたが、ご指導いただいた署員の方々や経験豊富なベテラ

◆江東区内消防団合同点検◆

〔期日〕9月24日(日) 一場所/木場公園

③救急車に同乗して優しく励ましたり、弱者(高齢者、身障者、幼児等)の精神的支えとなるように努める。いずれも、自分達にできる事は何かと話し合い、自ら提案して実行することを心がけているとのこと。最後は、「家族の理解と協力があってこそこの活動」と締めくくられました。自分たちの役割の重要性を再確認することができた良い大会でした。(第五分団 高橋 編集員)

などのお言葉があり、その後、消防団の活動事例の発表がありました。各消防団ともバイタリティーあふれ、かつユーモアもあり、笑いを誘う力強い発表でした。特に印象に残った事例をご紹介します。①火災現場において防火服を着用し、男性団員と同じく放水活動を行う。②皆で手話を習得し、養護学校で手話による応急手当の指導を行う。

最近、全国各地で頻繁に起こる災害のニュースが流れている中での訓練だったためか、参加者の真剣なまなざしが印象的でした。(第六分団 青柳 編集員)

◆各団の主な行事活動等◆

〔期日〕10月22日

秋空の下、災害協力隊及び多数の町会員皆さんの参加いただき、合同防災訓練が牡丹町公園にて実施されました。当日は、深川消防署永代出張所署員のご指導をいただき、初期消火訓練、煙ハウスによる煙体験、三角巾による応急処置の訓練、そして町会に置いてある市民消火隊ポンプによる放水訓練が実施されました。特に、昼間、在宅の多い婦人災害協力隊の方には、機関及び筒先の訓練が実施されました。

ン団員からの指導を受けながら2日間の練習ではありましたが、多数のご来賓や関係者また、城東消防団の見守る中、指揮者の号令の下「小隊操練の一部」を無事に終了することが出来ました。(第一分団 長谷川 編集員)

今年も消防署と消防団連携による恒例の年末年始特別警戒を実施しました。各団は右の通り担当し、十二月三十一日午後十時、一月一日午前二時三十分にかけて、年始にお参りする参拝客の特別警戒を行う。本部である第五・六分団担当の警戒所では中村署長、増茂団長の激励を受け実施いたしました。参拝客の中には、お酒を召してお参りされる方、又、早くお参りしたいという気持ちで押し合う方がいるため、階段等での転倒による事故等(将棋倒し等)を未然に防ぐため各団員は両サイドから警戒にあたりました。又、第一・六分団では、緊急時に備えて、可搬ポンプを待機させました。今回の特別警戒には、東京消防庁の秋山警防部長が警戒本部に激励に來られました。午前一時を過ぎる頃には、深々と寒さが増してきましたが、今回も大過なく、無事特別警戒を終了することが出来ました。(第六分団 青柳 編集員)

〈年末特別警戒実施警戒〉

- ◆富岡八幡宮(第六分団)
- ◆深川不動堂(第五分団)
- ◆宇迦八幡宮(第二分団)
- ◆猿江神社(第一分団)
- ◆深川神明宮(第三分団)
- ◆浄心寺(第四分団)
- ◆洲崎神社(第七・八分団)

消防団豆知識

防火について

1 火災の状況について

(1) 平成17年の火災を分析すると、東京消防管内の火災件数六千三百七十七件、放火及び放火の疑いを含んだ件数二千二百二十一件で全体の37%を占めている状況である。また、深川消防署管内の火災件数90件で放火及び放火の疑いを含んだ件数が27件で全体の33%になります。火災の原因が常に「放火及び放火の疑い」が1位で、ついで2位は「たばこ」、3位は「電気機器」、4位は「配線器具等」が主なところですよ。

2 放火を予防する方策は

- (1) 物置や車庫などは必ずカギをかけること。
- (2) 外出するときは、隣に一声かけてから出かける。
- (3) ゴミは決められた日の朝に出すこと、車やオートバイのボディカバーは、防災製品を使用すること。
- (4) 家の周りには外灯などをつけ明るくすること。
- (5) 自宅の周りはいつも整理整頓すること。
- (6) 共同住宅の廊下など共用部分には物を置かないようにすること。
- (7) 消火器、三角消火バケツや住宅用火災警報器などを備える事等が挙げられる。
- (8)

各警の警戒

富岡

深川

猿江

洲崎

地域の安全 消防 自分たちの町は。

◆問い合わせ先◆ 深川消防団本部(深川消防署内) 電話 〇三(三六四二)〇一九

◆お問い合わせ先◆ 消防団の区域内に居住 又は勤務の方

表彰者の紹介

◆東京都消防協会会長賞(十月十四日)

東京都消防操法大会優勝

(可搬ポンプ操法の部、団体) 深川消防団

◆東京都消防褒賞(十月二十四日)

団本部 分団長 飯田 歳樹

第五分団 副分団長 野澤 通泰

第八分団 副分団長 山添 捷彦

◆江東区政功労者表彰(十一月三日)

第十分団 分団長 小安 勤

◆瑞宝章(十一月三日)

元副団長 友の会理事 千野泰太郎

◆第七消防方面本部長賞(十一月二十九日)

第三分団 副分団長 赤澤 光幸

第三分団 班長 小野 至

第四分団 団員 古屋 良一

第三分団 班長 大野 浩一

第三分団 班長 佐野 英人

◆消防総監賞(優良消防団) (一月六日)

優良表彰・竿頭級(緑) 深川消防団

◆消防総監賞(功績表彰) (二月六日)

第三分団 副分団長 小幡 毅

第六分団 副分団長 菊池 哲

◆消防総監賞(優良表彰) (二月六日)

団本部 部長 齊藤 博

第一分団 部長 高橋 秀典

第二分団 部長 押田 政秀

第二分団 部長 中田 幸一

第二分団 部長 菊池 常美

第四分団 部長 深谷 眞一

第四分団 部長 小堀 義矩

第五分団 部長 山崎 幸雄

第八分団 部長 岡田 吉利

第九分団 部長 上遠野 一義

警戒線について

新たに「危険区域設定用テープ(赤色)」が新設されました。

趣旨

災害状況の変化、多様化に伴い消防活動の危険区域を明示し、消防隊員並びに消防団員の安全管理を図るため、危険区域設定用テープ(赤色)として活用する。

種類	目的	設定用途	運用要領等
警戒区域設定用テープ(黄色)	住民の安全、効率的な消防活動	消防法に基づき、火災警戒区域を設定する場合と消防警戒区域を設定する場合に活用する	関係者以外の人に対してその区域から退去を命じ、若しくは出入を禁止し、若しくは制限する
危険区域設定用テープ(赤色)	危険区域への立入の禁止、制限	1 火災現場における建物の床抜け、瓦等の落下危険及び建物の倒壊等局所の危険箇所、区域を明示する場合	全ての消防隊員に対する立入り禁止のため使用する
		2 火災現場における進入統制をする場合	指揮本部長により下命された特定の消防職員以外の進入を禁止する

私の好きな事シリーズ③



深川消防署 署長 中村 勇人

署長インタビュー

気持ちの有りようが肝心である。仕事も日常の生活も遊びであると思うと積極性がでてくる。座右の銘とも思われる中村署長の開口一番の言葉でした。

昭和24年茨城県で出生され大田区の勝島で育たれ、中学生の時に宝組倉庫の大火を目の前で経験されました。しかしながら、この事が消防官になる動機ではないそうです。入庁以来多方面の仕事を経験され平成12年に署長になられて、深川消防署は4署目になります。

冒頭で述べましたように、この様な思いでおりますと人は夢を持つとその方向に行き、与えられた難しい課題が解決して行く思いがするそうです。

この事を踏まえ現在退職後に美術館を創設したいとの夢をお持ちです。過去に焼物との出会いがあり興味が募り収集し、さらには絵画、ガラス工芸品、石の美術品へと、多くの美術品の収集をしてこられました。これらの収集品を一同に展示をする美術館の創設が夢との事です。

既に奥多摩に用地を取得し、NPO法人「自然と美が奏でる夢創りの会」も立ち上げ、準備を進めておられます。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年初めての「さきもり」は、年末・年始の諸行事を取材し、限られた制作日数の中、掲載いたしました。今年も、色々試みながら編集をしていき、深川消防団の活性化にならなげに行きたいと思っております。

深川消防団員募集中!!

- 女性・勤務者
- 入団資格 ● 心身ともに健康で、十八歳以上の方
- 消防団の区域内に居住、又は勤務の方
- 問い合わせ ● 深川消防団本部(深川消防署内)
- 電話 〇三(三六四)〇一九